

塚原 康子(音楽学部音楽学)

『近代雅楽制度の研究』

『近代日本雅楽制度の研究 戦前期の宮内省式部職楽部を中心に -』は、明治期から昭和戦前期までの宮内省楽部の略史と楽師の一覧、略年表などを収めた資料集で、平成11～12年度文部科学省科学研究費の報告書である。残された楽師の日記や公文書などの調査に加え、聞き取り調査の内容などを交えて作成したものである。

明治7年から西洋音楽を兼修した楽部からは、音楽取調掛時代には御用掛・助教として若手が兼務していたが、東京音楽学校になってからも、管楽器の講師はずっと楽部に依頼するなど交流がつづいた。

(2002年11月 教官アーカイヴ展に寄せて)